



トーキョーサイダー・北斎ラベル

世界的な画家として評価の高い「葛飾北斎」は、本所割下水（現在の墨田区亀沢付近）で生まれたと言われており、90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしながらか、多くの作品を残しています。この北斎の代表作とも言える「富嶽三十六景」の版画をトーキョーサイダーのラベルに配しました。

また、当社の創業100周年記念事業の一つとして、2016年11月22日に開館しました「すみだ北斎美術館」（東京都墨田区亀沢2丁目7番）のネーミングライツパートナー（同館講座室に「MARUGEN100」と命名）となりました。



葛飾北斎



すみだ北斎美術館

すみだモダン認証商品

すみだ地域ブランド推進協議会は基本コンセプト「あたらしくある。なつかしくある。」をもとに、「人・暮らし・想い」に適合した“すみだ”ならではの個性を持った魅力のある墨田区生まれの商品をブランド認証しています。トーキョーサイダーは、この地域ブランド“すみだモダン”として認められています。

あたらしくある。
なつかしくある。



すみだモダン

■丸源飲料工業株式会社のご紹介■

丸源飲料工業株式会社の前身、柳水舎は、1916年（大正5年）東京市本所区柳島本町（現・東京都墨田区業平・横川）に阿部源之丞により創業、当初はラムネの仲買販売を行っていました。1923年関東大震災で被災した後に、丸源飲料阿部商店として再建、1927年には東京府南葛飾郡小村井（東京都向島区吾娯町を経て、現東京都墨田区立花＝現本社所在地）に工場を新設、清涼飲料業界団体のリーダー企業として活動しました。戦後の1947年、丸源飲料工業株式会社に改組して活動を再開すると同時に「トーキョーサイダー」を発売。1951年には「トーキョーオレンジード」を販売するなど、清涼飲料の製造販売で成長を遂げました。1970年代以降は、主にホテル、レストラン、カフェなどのフードサービス業界向けの飲料、デザート食材の総合サプライヤーとして、商品開発、製造販売。海外パートナーとの関係強化につとめ、「食文化創造」「もっとたのしく、もっとおいしく。」をキーワードに、様々な時代を展開しています。2016年、創業100周年を迎えました。

飲と食に関わる全てのプロの方々のアイデアをカタチにあらゆる食材メーカーです



本社ビル



www.marugen.com



もっとたのしく、もっとおいしく。



〒131-8527 東京都墨田区立花4-7-8 TEL 03-3617-0121 (代表)
【本件のお問合せ先】 営業推進部 03-3617-0123 E-mail: kikaku@marugen.com



東京下町のすみだ生まれ

懐かしの全糖サイダー



トーキョーサイダー物語

「トーキョーサイダー」が、東京都向島区吾嬬町（現・東京都墨田区立花）で産声を上げたのは、1947年（昭和22年）のこと。未だ混乱の続く戦後間もない頃に焦土と化した東京のシンボルとして生まれ、地元で愛され、その後42年という永きにわたって作り続けられた、まさに東京下町墨田区生まれのシンボル地サイダーです。

丸源飲料工業株式会社は、戦災により社屋、工場を焼失しましたが、終戦からわずか2年後にトーキョーサイダーを発売。そこには、自社だけでなく東京の復興へ向けた熱い思いを込めました。戦後復興の中核商品として、飲食店・野球場・公営競馬場・映画館などで販売していました。

トーキョーサイダーの販売は1989年に一度終了しましたが、墨田区の東京スカイツリー開業を機に、その前年の2011年に墨田区限定で復刻販売を開始しました。当時のレシピ、ラベルを忠実に再現し、340mlのサイダーびんに詰めました。全糖ならではの懐かしい味わいのなかに、さっぱりとした清涼感。レトロだけど未来を夢見るレトロフューチャーなテイストが特徴です。2019年から全国販売を開始しました。



トーキョーサイダー
オリジナルバージョン
容量 340ml×24本/1ケース

トーキョーサイダー®

トーキョーブランド

“Tokyo Brand” マークは、丸源飲料工業株式会社が「トーキョーサイダー」など、トーキョーという名称を冠するブランド商品に共通して使用したものです。

中央のデザインは、シャンパングラスに気泡（あわ）をモチーフにしています。「トーキョー®」「トーキョーサイダー®」は、丸源飲料工業株式会社の登録商標です。



サイダーびんへのこだわり

販売開始した当時のサイダーびんの形にこだわりました。340mlと少し大きめのびんの存在感はたっぷり。ガラスがもつ透明感を残しながら繊細でおしゃれな梨地模様（果物の梨の表面をイメージした模様）をアクセントに入れ、重厚感のあるびんになりました。この梨地模様は、フロスト加工のようにガラスを吹いた後に加工を加える方法とは異なり、金型の表面に凸凹をつけてびんを吹くと同時に模様を打ち出す方法です。



びん底には「丸に源」の刻印があります。当社の屋号だった丸源に由来するマークは、創業時の主力商品であったラムネびんにも刻印されている字体をそのまま採用しております。当社丸源飲料工業のオリジナルびんの証です。



ラベルデザイン ～復興のシンボル～

ラベル中央に配された見慣れないドーム型の建物は回向院境内に1909年竣工した旧両国国技館。日本初のドーム型の鉄骨板張りの洋風建築の建物で、鉄柱308本と鉄材538tで建造された大屋根が巨大な傘に見えたため、“大鉄傘”という愛称で呼ばれていました。設計は、日本銀行本店や東京駅などの設計者で知られる近代洋風建築の第一人者・辰野金吾です。

火災や関東大震災、第二次世界大戦で被害を受けながらも耐え抜き、当時の東京復興を象徴するアイコンとして発売時に採用されました。

ちなみに、ラベル内のEijiro ABEとは、トーキョーサイダーの発案者、丸源飲料工業株式会社二代目社長阿部栄次郎のことです。



トーキョーサイダー マイラベル

ラベル中央の旧両国国技館の部分、オリジナルデザインに置き換えたトーキョーサイダーマイラベルのご注文を承っています。各種イベント、ノベルティ用としてご利用頂けます。数量、価格、納期などは当社までお問合せ下さい。

